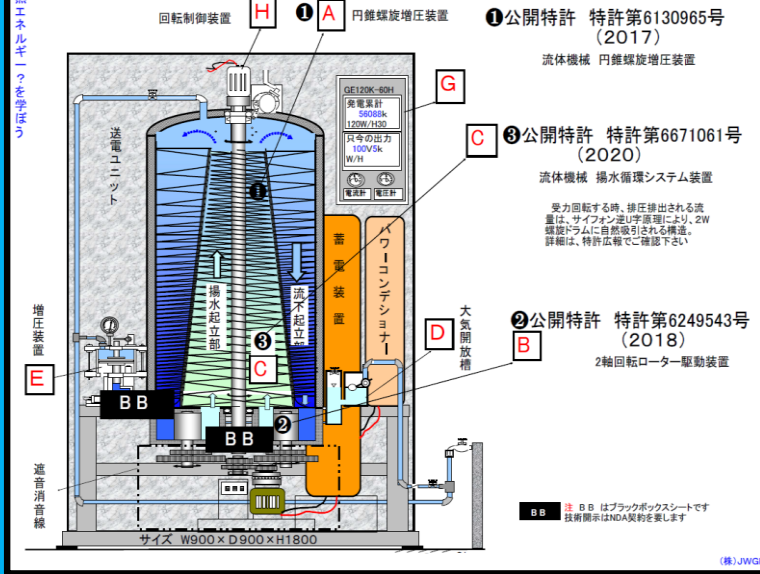


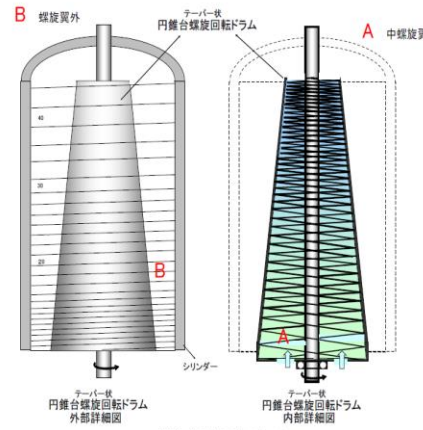
[P-6]

都市型水力発電の主な特許技術-1



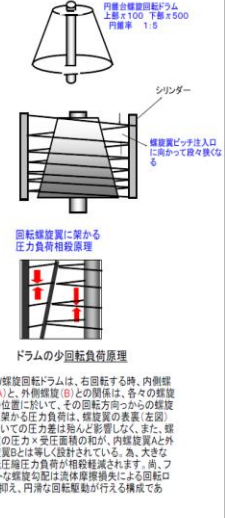
① 公開特許 第6130965号 流体機械 円錐螺旋増圧装置

(詳細は、特許広報等でご確認ください)



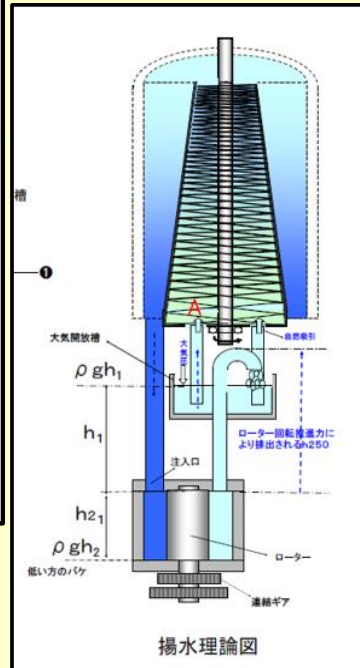
円錐螺旋増圧装置 (テーバー状筒体部)

特許技術の特徴 円錐率500% 螺旋ピッチ偏流率400% 圧縮比1:20 圧縮効果を円錐螺旋ピッチ偏流率・回転速度に依り自然増圧させる技術です。



③ 公開特許 第6671061号 流体機械 揚水循環装置

(単管サイフォン循環システム)



2軸回転ローターは都市型水力発電の水車の働きをします。上図の例のように大きな回転推進力がダイナモを回転させて発電します。この水車は複数組み込まれ、各ローターは外部でギア連結され、シリンダー内で機密閉され、吸引口にローターが接すると、圧力流体の水圧で自動的に駆動し、左右のローターは交互に規則正しく吸・排を繰り返し回転します。が、切替弁等の装置はなく、ローターの回転で自動的に切替わるシステムは、利水率100%で水車の発電効率向上に大きく関わる機能構造は、革新的なデバイスを構成しています

[P8] ② 公開特許第6249543号 流体機械 2軸回転ピストン駆動装置(水車・ポンプ機能)

上部フランジを外しスケルトンにした状態、水頭圧が注入されると自動的にローターが回転します。この回転で自動吸排します。

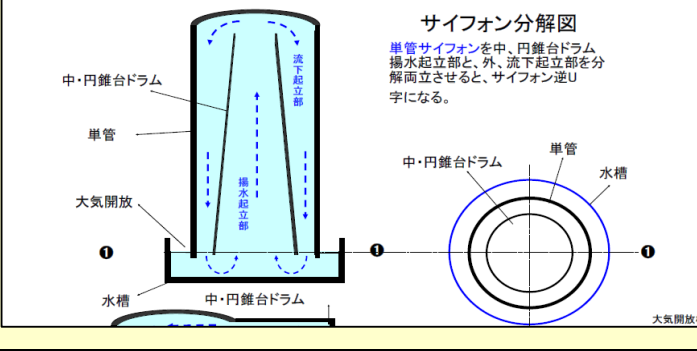
発電出力方程式 $mg h = W(U)$
 $質量 \times 重力 \times 高さ = 仕事量$
 $(質量/m) \times g h = U(位置エネルギー)$

都市型水力の心臓部
 $mg h = m^3/s \times 9.8 \times h = kW \times 効率 = 出力$

例 (位置エネルギー 6Mpa / 受圧面積 300d)
 回転推進力 1800kgf

2軸回転ローター (大きめの弁当箱) 150 × 220 × 150

特許・単管サイフォン 一定量水の循環システム図解 逆U字管が一つの管に纏まった。



特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第6130965号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION) 流体機械、発電装置及び増圧装置

特許権者 (PATENTEE) 神奈川県平塚市高根187番地
株式会社WGE

発明者 (INVENTOR) 寺山 宜男
田中 昭次

出願番号 (APPLICATION NUMBER) 特願2016-246255

出願日 (FILING DATE) 平成28年12月20日(December 20, 2016)

登録日 (REGISTRATION DATE) 平成29年4月21日(April 21, 2017)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成29年4月21日(April 21, 2017)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

小宮義則

特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第6249543号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION) 流体機械

特許権者 (PATENTEE) 神奈川県平塚市高根187番地
株式会社WGE

発明者 (INVENTOR) 田中 昭次
寺山 宜男

出願番号 (APPLICATION NUMBER) 特願2017-153413

出願日 (FILING DATE) 平成29年8月8日(August 8, 2017)

登録日 (REGISTRATION DATE) 平成29年12月1日(December 1, 2017)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成29年12月1日(December 1, 2017)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

宗像直子

特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第6671061号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION) 流体揚水循環装置

特許権者 (PATENTEE) 神奈川県平塚市高根187番地
株式会社WGE

発明者 (INVENTOR) 田中 昭次
寺山 宜男

出願番号 (APPLICATION NUMBER) 特願2019-070267

出願日 (FILING DATE) 平成31年4月1日(April 1, 2019)

登録日 (REGISTRATION DATE) 令和2年3月5日(March 5, 2020)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和2年3月5日(March 5, 2020)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

松永明



特許協力条約
PCT
国際調査報告
(法8条、法施行規則第40、41条)
[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人の識別番号 PCT/JP2019-070267	今後の手続 については、	様式PCT/ISA/220 及び付記5を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2019/049068	国際出願日 (日、月、年) 18.12.2019	優先日 (日、月、年)
出願人 (氏名又は名称) 株式会社WGE		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (PCT18条) の規定に従い出願人に送付する。
この字は法附則第5条にも送付される。
この国際調査報告は、全部で 3 ページである。
 この国際調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語に関して、この国際調査報告は以下のものに基づき行つた。

出願時の言語による国際出願
 出願時の言語から国際調査のための言語である _____ 語に翻訳された。この国際出願の翻訳文 (PCT規則12.3(a)及び23.1(d))

b. この国際調査報告は、PCT規則91の規定により国際調査機関が作成した又は国際調査機関に通知された明らかな誤りの訂正を考慮して作成した (PCT規則43.6の注(a))。

c. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第1欄参照)。

2. 請求の範囲の一部の誤謬がない (第3欄参照)。

3. 発明の単一性が欠如している (第3欄参照)。

4. 発明の名称は

出願人が提出したものを承認する。
 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は

出願人が提出したものを承認する。
 第2欄に示されているように、法施行規則第41条第1項 (PCT規則38.2) の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1月以内はこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に關して

a. 要約とともに公表される図は、第 11 頁とする。

出願人が示したとおりである。
 出願人は図を示さなかったが、国際調査機関が選択した。
 本図は発明の特徴を一層よく示しているため、国際調査機関が選択した。

b. 要約とともに公表される図はない。

様式 PCT/ISA/210 (第1ページ) (2015年1月)